

再評価項目調査

再評価実施要件		● 事業採択後 ( 5 年 ) ○ 再評価後 ( 年 ) ○ その他 ( )				
1 事業 概要	事業名	一般国道490号 <sup>えどうはぎ</sup> 絵堂萩道路 道路改築事業				
	事業場所	美祢市 <sup>みづうらや えどう</sup> 美東町絵堂 ~ <sup>つばき</sup> 萩市椿				
	事業主体	山口県				
	事業期間	《 前回評価 平成 24 年度時 》 平成 26 年度 ~ 平成 36 年度 《 平成 35 年度 》 ( 西暦 2014 年度 ~ 西暦 2024 年度 《 西暦 2023 年度 》 )				
	総事業費 (内用地補償費)	《 26,000 百万円 》 30,000 百万円 ( 593 百万円 )	既投資額 (内用地補償費)	6,684 百万円 ( 353 百万円 )	進捗率 (用地補償費)	22 % ( 60 % )
	事業目的	一般国道490号絵堂萩道路は、県央の交通拠点である山口市小郡と「秋吉台」等の自然環境や、「萩城下町」等の歴史・文化遺産に恵まれた美祢・萩地域を結ぶ地域高規格道路小郡萩道路の一部を構成する延長約15kmの道路であり、当該事業は、広域観光ネットワークの形成、県中部と山陰地域との交流促進、広域交流拠点との連絡強化、安全で円滑な交通の確保を図ることを目的として実施するものである。				
事業内容	○延長 : L=15.0km (バイパス区間9.0km、現道活用区間6.0km) ○幅員 : 【バイパス区間】全幅13.5m (車道3.5×2=7.0m) 【現道活用区間】全幅10.25m (車道3.25×2=6.5m、片側歩道2.5m) ○道路区分 : 【バイパス区間】第1種第3級 【現道活用区間】第3種第2級 OH42推計交通量 : 10,400~13,300台/日					
事業効果	○萩市役所と山口宇部空港の移動時間が68分から63分になるなど、山陰地域と県中部や山陽地域間の移動時間が5分短縮されるとともに、定時性や安定した走行が確保されることから、以下の効果がある。 ・観光客がより多くの観光地を訪れることが可能となる。 ・住民による地域間の交流促進が見込まれる。 ・物流の効率化により産業の活性化が期待できる。 ・搬送時間の短縮により救命率の向上に寄与する。 ○H8道路防災総点検 <sup>*1</sup> における要対策箇所(6箇所)を回避することにより、安全な交通が確保される。					
2 再評価の視点	(1) 社会経済情勢の変化に伴う必要性の変化	<p>当該道路の沿線地域においては、平成27年に、「Mine秋吉台ジオパーク」が日本ジオパークに認定され、「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されたこと等により、観光客が増加している。</p> <p>また、平成30年には「萩ジオパーク」が日本ジオパークに認定されたことから、さらなる観光客の増加が見込まれる。</p> <p>さらに、当該道路と一体となって高速道路ネットワークを形成する山陰道や山口宇部道路の整備が進んでおり、広域観光ネットワークの形成や広域交流拠点との連絡強化に資する当該道路の必要性は依然として高い。</p> <p>【美祢市観光客数】 ○平成29年：約155万人 (平成25年からの増：約19万人) 【萩市観光客数】 ○平成29年：約242万人 (平成25年からの増：約23万人) 【山陰道】 ○一般国道491号俵山・豊田道路：平成28年度に新規事業化 ○一般国道191号木与防災 : 平成29年度に新規事業化 【山口宇部道路】 ○小郡JCT：平成28年3月に供用開始</p>			中項目 評価	大項目 評価
	関係市町及び地域の意向	<p>当該道路は、「萩市総合戦略」及び「第一次美祢市総合計画」に整備を促進する道路として位置付けられているとともに、萩・小郡間地域高規格道路整備促進期成同盟会等から早期整備の要望がある。</p> <p>地元住民は事業に協力的であり、事業推進にあたっての協力体制が整っている。</p>			中項目 評価	中項目 評価

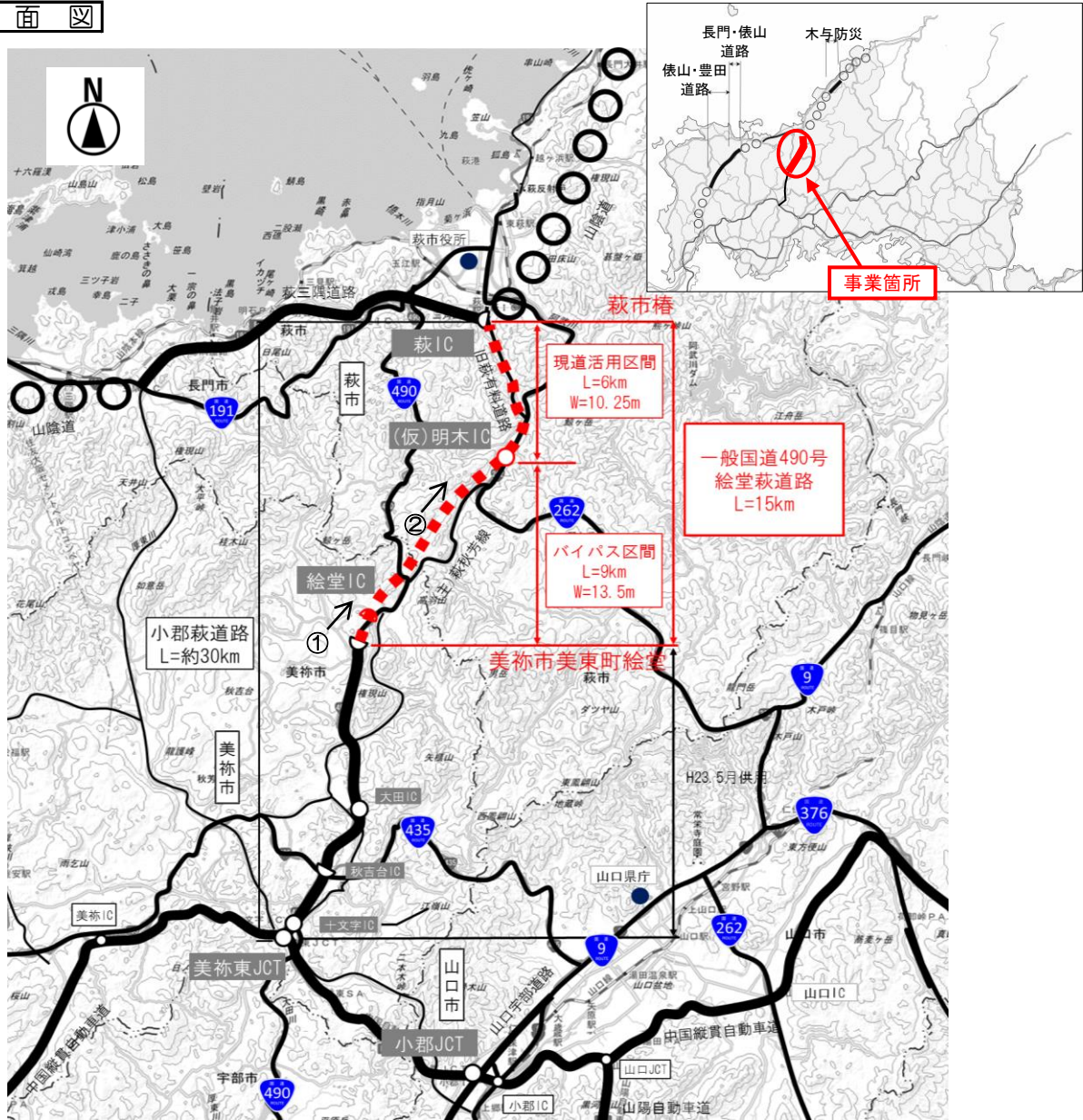
2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	<p style="text-align: right;">(単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>前回 (基準年：H24)</th> <th colspan="2">今回(再評価) (基準年：H30)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>全体事業</th> <th>全体事業</th> <th>残事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">便益 (B)</td> <td>①走行時間短縮便益</td> <td>27,221</td> <td>29,275</td> <td>29,275</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②走行費用短縮便益</td> <td>5,148</td> <td>4,068</td> <td>4,068</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③交通事故減少便益</td> <td>2,964</td> <td>1,992</td> <td>1,992</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>35,333</td> <td>35,335</td> <td>35,335</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td>19,236</td> <td>25,022</td> <td>18,593</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>657</td> <td>2,387</td> <td>2,387</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>19,893</td> <td>27,409</td> <td>20,980</td> <td></td> </tr> <tr> <td>費用便益比 (B/C)</td> <td>1.8</td> <td>1.3</td> <td>1.7</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※ 便益(B)・費用(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p> <p>【費用対効果分析手法】          前回評価：「費用便益分析マニュアル(H20.11)」 基準年：H24          平成17年度道路交通センサス<sup>※2</sup>ベース 平成42年推計交通量          今回評価：「費用便益分析マニュアル(H30.2)」 基準年：H30          平成17年度道路交通センサスベース 平成42年推計交通量</p>	区分	主な項目	前回 (基準年：H24)	今回(再評価) (基準年：H30)		備考	全体事業	全体事業	残事業	便益 (B)	①走行時間短縮便益	27,221	29,275	29,275		②走行費用短縮便益	5,148	4,068	4,068		③交通事故減少便益	2,964	1,992	1,992		総便益	35,333	35,335	35,335		費用 (C)	①事業費	19,236	25,022	18,593		②維持管理費	657	2,387	2,387		総費用	19,893	27,409	20,980		費用便益比 (B/C)	1.8	1.3	1.7			大項目 評価 A ・ B ・ C
	区分	主な項目			前回 (基準年：H24)	今回(再評価) (基準年：H30)			備考																																														
			全体事業	全体事業	残事業																																																		
	便益 (B)	①走行時間短縮便益	27,221	29,275	29,275																																																		
②走行費用短縮便益		5,148	4,068	4,068																																																			
③交通事故減少便益		2,964	1,992	1,992																																																			
総便益		35,333	35,335	35,335																																																			
費用 (C)	①事業費	19,236	25,022	18,593																																																			
	②維持管理費	657	2,387	2,387																																																			
	総費用	19,893	27,409	20,980																																																			
費用便益比 (B/C)	1.8	1.3	1.7																																																				
(3) 事業の進捗	事業の進捗と今後の見通し  【事業費の変化】 <input checked="" type="radio"/> 有 無 事業費の増は、橋梁の詳細設計の実施にあたり、道路橋示方書の改定に対応したことや、橋梁の基礎工において、地質調査を実施した結果、当初想定していた位置に、地盤支持力が確認できなかったことから、基礎の形式を変更したこと等による。  【事業期間の変化】 <input checked="" type="radio"/> 有 無 上記理由により、事業期間を平成36年度まで延伸する。	大項目 評価 A ・ B ・ C																																																					
(4) コスト削減	コスト削減 道路・トンネル照明にLED照明を採用することによるライフサイクルコストの低減や、発生土砂の現場内流用を積極的に行うことによる土砂の有効利用を図る。	<table border="1" style="font-size: x-small;"> <tr> <td>中項目 評価</td> <td>大項目 評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">a・b</td> <td style="text-align: center;">A ・ B ・ C</td> </tr> </table>	中項目 評価	大項目 評価	a・b	A ・ B ・ C																																																	
中項目 評価	大項目 評価																																																						
a・b	A ・ B ・ C																																																						
代替案等の可能性	代替案 利便性・経済性・施工性を総合的に勘案し、最適ルートを選定していることから、計画どおり進めることが妥当と考える。	<table border="1" style="font-size: x-small;"> <tr> <td>中項目 評価</td> <td>大項目 評価</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">a・b</td> <td style="text-align: center;">A ・ B ・ C</td> </tr> </table>	中項目 評価	大項目 評価	a・b	A ・ B ・ C																																																	
中項目 評価	大項目 評価																																																						
a・b	A ・ B ・ C																																																						
3 環境	配慮事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施工機械においては、低振動・低騒音型を使用する。</li> <li>・ 住居が近接している箇所においては、騒音対策として、防音シートを使用する。</li> <li>・ 濁水の対策として、沈砂池や濁水処理フィルター等を設置する。</li> </ul>																																																						
4 対応方針	(事業実施主体) 総合評価 <input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し継続 <input type="radio"/> 中止 評価理由 事業の必要性、費用対効果等を勘案し、事業継続が妥当と判断する。 備考																																																						

【用語説明】

- ※1 H8道路防災総点検：豪雨・豪雪等による災害を防止するため、道路法面の安定性等について詳細な点検を行い、さらにその結果を今後の道路防災対策に反映していくためのもの
- ※2 道路交通センサス：道路の計画や、建設、管理などの基礎資料を得ることを目的とした道路交通の実態を把握するための統計調査

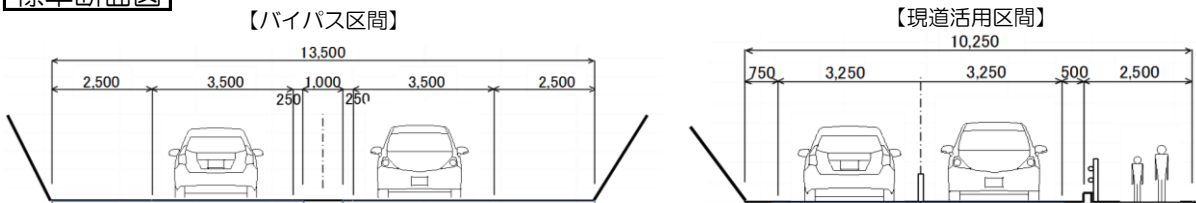
えどろはぎどうろ  
一般国道490号 絵堂萩道路

平面図



※この地図は、国土地理院地図（電子国土Web）の一部を掲載したものである。

標準断面図



写真

